

2019年度ミャンマー短期研修

ミャンマー探求10日間

～多民族・宗教・自然からテクノロジーと国際貢献を辿る～



＜お問い合わせ先＞

グローバル教育院：横森佳世准教授

13号館504号室、042-388-7622

yokomorikayo@go.tuat.ac.jp

OUTLINE

＜目的＞ アジアにおける日本とミャンマーとの協力の歴史を考察し、現在の日本のNGOやODA、そして国際機関の取り組みを学び、理系人材として何ができるかを探求する。同時に、多民族社会や植民地支配の影響、難民問題などグローバル・イシューを把握し、豊かな自然とエネルギー、さらには平和な社会を次世代へ継承するための道筋を考える。

＜成果＞

- ◆ミャンマーの経済発展に対する日本及び世界の貢献の現状を把握する
- ◆理系出身学生がアジアで何ができるかを考える。
- ◆グローバル・イシューを考える姿勢を身につけ、環境・エネルギー・平和問題に対する意見を持ち、表明できる。



スケジュール・内容

日時	内容	宿泊	特記事項
3/8 (日)	11:00成田 → 18:40ヤンゴン (NH813) 夕刻：シュエタゴンパゴダ、House of Memory	ヤンゴン泊	全日空直行便
3/9 (月)	日本大使館表敬、JICAミャンマー事務所表敬、 ミャンマー日本人材開発センタープロジェクト訪問、 ティラワ経済特区視察	ヤンゴン泊	日本政府、ODAプロジェクト現場、企業が急速に進出する経済特区等を訪れ多角的視点からミャンマーの民主化等を考察
3/10 (火)	日本人墓地、寝釈迦、インド人街、中華街、アウンサン博物館、旧ビルマ政府、ボージョー市場等 17:45ヤンゴン → 18:45ネピドー (K7-236) 白象の見学 研修振り返り①	ネピドー泊	ミャンマーや日本との関わりの歴史、多民族国家、宗教の根付いた生活について体感する 夕刻、首都へ 人工都市を視察
3/11 (水)	WFP (国連世界食糧計画)、イエジン農業大学 (ODA/SATREPSプロジェクト視察、学生交流)	ネピドー泊	国連や日本のODA支援を把握、学生交流
3/12 (木)	8:00ネピドー → バガン (陸路) 遺跡散策 (馬車や自転車にて) 研修振り返り② (サンセットを背景に)	バガン泊	自仏教3大聖地の一つが、なぜ今年まで世界遺産登録されなかったのか、歴史と宗教、観光について考察
3/13 (金)	8:50ニャンウー (バガン) → 9:30ヘーホー (7Y-121) NGO (TPA地球市民の会) 事業紹介 インレー湖環境問題レクチャー インレー地域環境保全事業視察 (ヌワダマ村)	インレー泊	多民族国家、水上生活と環境問題を考察 大自然で心と体を解放しよう

スケジュール（続き）

3/14 (土)	インレー湖 ホームビジット、マイタウ村事業視察、学校建設事業視察、観光など	インレー泊	インレー湖水質調査等 日本のプロジェクトの地域貢献を考察
3/15 (日)	早朝 タンボジ農業畜産研修センターへ 農作業、ヤンゴンマルシェへの出荷作業、学生交流 17:30へーホー → 18:40ヤンゴン (7Y-151)	ヤンゴン泊	農作業の実際と農作物の流通を把握
3/16 (月)	ヤンゴン工科大学、ヤンゴンマルシェ視察、 お土産屋DACCO等 研修振り返り③	ヤンゴン泊	大学研究室見学ツアー、学生交流 最大都市にて国際支援につき学び議論し、研修を振り返る
3/17 (火)	終日自由行動 22:10ヤンゴン → 成田 (NH814)		全日空直行便
3/18 (水)	6:45 成田着		解散



＜対象学部＞ 農学部、工学部

＜費用＞ 合計22万円程度

（国際航空運賃、国内航空運賃、国内移動車両、ホテル付き、ビザ及び村への旅行許可証申請代含む）

※ 有資格者にはJASSO奨学金を7万円支給



～心を洗いに神秘の国へ～

タイ、インド、中国など個性的な大国に囲まれた130以上の民族が住む混沌の国は何万といわれる宗教建築を抱え、自然の起伏に富んだ聖なる地でもあります。

人はなぜ気負いなくやさしいのか。空はなぜどこまでも青く澄み切っているのか。

ミャンマーの日常に触れたとき、その答えが見つかるかもしれません。

BE FREE AND FIND YOURSELF!

